

海老名市に行ってみよう！

神奈川県中央にある海老名市は、東京から50km、横浜から20kmに位置し、都心・横浜までのアクセスの良さから、ベッドタウンとして注目されています。小田急小田原線・相模鉄道線の海老名駅周辺には複合商業施設「ViNAWALK」(ビナウォーク)がある一方、市内には田園地帯や国指定史跡「史跡相模国分寺跡」をはじめとした史跡が多く存在するなどの一面も併せ持っています。

ここでは、都市、自然、歴史と文化が調和する程よい環境のまち海老名市を紹介します。

ViNAWALK



7つの個性的なショッピングモールが並び、海老名中央公園が隣接する複合商業施設「ViNAWALK」。海老名中央公園には、「相模国分寺七重の塔」(左)を約3分の1サイズに縮小したモニュメントがあり、海老名市のシンボルの1つです。

ViNAWALK <http://www.vinawalk.com>

えび〜にゃハウス



えび〜にゃグッズや白石市・登別市の特産品などを販売している海老名市役所連絡所「えび〜にゃハウス」(右)。特産品のイチゴを使用した「えび〜にゃサイダー」(左)が人気！

☎海老名市窓口サービス課 ☎046-235-4869



海老名市イメージキャラクター「えび〜にゃ」

特産品のイチゴを使った「いちごわいん」と「いちご酢」もよろしくにゃ！



海老名市提供

海老名サービスエリア



東名高速道路にある神奈川県内唯一のサービスエリア(SA)。飲食店が充実しているほか、さまざまなショッピングができます。上り線は「ぷらっとパーク」として高速道路を利用しなくても利用可能。下り線の名物には、「本物のメロン以上に芳醇なメロンの味わい」と紹介されるメロンパンがあります。

海老名SA上り線

<http://www.sapa.c-nexco.co.jp/sapa?sapainfoid=9>

海老名SA下り線

<http://www.sapa.c-nexco.co.jp/sapa?sapainfoid=10>

えびな市民まつり



海老名市提供

毎年7月に行われるえびな市民まつり。海老名市内の神輿と囃子が勢ぞろいし、見て・食べて・遊んで楽しめます。夜には花火が打ち上げられ、夏の夜空に大輪の花を咲かせます。

☎えびな市民まつり実行委員会事務局(市民活動推進課内)

☎046-235-4794

交流で大きく成長

海老名市との交流は、白石市姉妹友好都市交流協会の中の「海老名・白石姉妹都市親善交流会」が主体となって、スポーツや文化、物産などでの交流を行い、楽しみながら友情を深めています。同会が行っている事業のほかにも、小中学生が中心となって行っている「ふるさと豆記者交流」、「ふるさとのまちを語る交流」など多彩な交流が行われ、互いのまちの魅力にふれ、友情を育みながら認識と理解を深め合ってきました。

▼ スポーツ交流事業 ▼



本市と姉妹都市の小中学生の少年野球選抜選手が、毎年、訪問と受け入れを交換し、交流試合やホームステイ、パーベキューなどで友情を深めています。平成26年8月には海老名市の少年野球選抜チームが来白し、白石市少年野球選抜チームと対戦しました。また、野球のほか、剣道やソフトテニスなどのスポーツで交流が行われています。

▼ ふるさとのまちを語る交流事業 ▼



本市と姉妹都市の中学生在が1年おきに訪問と受け入れを交換しながら、互いの地域や学校のことを紹介し合い、お互いの市の魅力を伝える交流会を行っています。本年度は本市から白川中学校3年の佐藤陽菜さんと小原中学校3年の佐藤楓花さんが海老名市を訪問し、お互いのまちや学校についての紹介やクラス交流などで友好を深めました。

▼ 姉妹都市親善水泳大会 ▼



毎年、本市と姉妹都市小中学生がスパッシュランドしろいしを会場に水泳で対戦。本年度は計50人が個人4種目とリレーで熱戦を繰り広げました。大会後は歓迎昼食会なども行われ、交流と友情を深めました。

▼ ふるさと豆記者訪問事業 ▼



本市と姉妹都市の小中学生が1年おきに訪問と受け入れを交換しながら、互いの地域や学校のことを紹介し合い、交流を通じて友情を育んでいます。

本年度は海老名市の小学生が本市を訪れ、白石城を見学したりこけしの絵付け体験を行ったりして、本市の魅力を体験しました。